

岡山県高梁市のブランド「高粱茶<sup>®</sup>（たかはしぢゃ）」が、備中松山城の猫城主「さんじゅーろー」に献上された。

当地のシンボリック的存在・猫城主への献上で知名度アップと、完成した観光客向けパッケージの販売好調に期待した。

献上したのはJA晴れの国岡山びほくお茶部会と、びほく統括本部。

藤田泉部会長や中村正義常務らが、目録や観光客向けパッケージのティーバッグ、水出しした煎茶を猫城主に献上した。猫城主の代理人（高梁市観光協会）は「今後も素晴らしい茶を育ててほしい」と喜んだ。

観光客向けパッケージには、雲海に浮かぶ備中松山城と、湯のみを手にした猫城主をデザインに加えた。背面は観光地を紹介して地域の魅力を発信。JAの茶を紹介するホームページにつながる2次元コード（QRコード）も印刷した。

備中松山城城まちステーション、高梁市観光駐車場、高梁市図書館で販売。煎茶、玄米茶、ほうじ茶がある。

藤田部会長は「猫城主をきっかけに『高粱茶<sup>®</sup>』を知ってもらいたい」と期待を寄せた。（晴れ岡山）

出典 <https://news.livedoor.com/>

